

## 受賞者並びに主な受賞理由

### ■最優秀賞：栗田 慶子（くわだ けいこ）さま

- 福山の老舗商店が並び本通商店街を拠点に、「コミュニティとしての商店街」の視点から、まちなか情報室「ぜっぴ」、コミュニティハウス umbrella、パンのマルシェ等、女性ならではの数多くの商店街活性化のための取組を企画・展開しており、その功績は高く評価できる。
- 取組に当たっては多くの仲間を巻き込み、隣接する商店街にも輪を広げ、国際的な要素も取り入れながら取組を進め、その優れたコミュニケーション能力、企画力、実行力等は福山の「輝く女性」として称賛に値する。
- また、その取組には、成熟した街「福山」ならではの落ち着きとレベルの高さを感じられ、世代を超えて市民の共感を呼ぶものとなっており、情報発信のセンスの良さや継続性・発展性が見られる点も高く評価した。

### ■優秀賞：木村 真弓（きむら まゆみ）さま

- 16年前の2002年によさこい踊り隊「備後ばらバラよさこい踊り隊」を結成し、パワー溢れるよさこい踊りを福山に根付かせ、その輪を広げ、街のイベント等への積極的な参加をとおして地域の活性化に大きく寄与した功績は高く評価できる。
- また、2013年以降にはローラちゃん応援隊やばらキッズの結成、2016年の市制100周年を機に立ち上げた「ふくのやまよさこい」の開催等で中心的な役割を果たしたその企画力、実行力は、福山の「輝く女性」として称賛に値する。
- 福山の大規模イベントにおけるリーダーとしての姿は、街への深い思いと熱いハートに溢れるものであり、数多くの市民に「わがまち福山」への共感と感動を呼ぶものとなっている点も高く評価できる。

### ■奨励賞：金井 奈穂（かない なほ）さま（株式会社アシスター）

- 株式会社アシスターの商品企画スタッフとして、デニム着物、作務衣、カープ浴衣等を企画・開発し、福山ゆかりのテーマを盛り込んだデザイン等、地域性が高くインパクトのある商品開発を進め、多様なメディアを活用して自らPRに務めることによって新商品のヒットに繋げている点を高く評価した。
- また、海外を含む多様な企業、団体、組織等と連携しながら商品開発・販路拡大に取り組むコラボレーション型の新しい製造業のスタイルを展開するとともに、「新時代の着物」の提案を通して、日本が誇る着物文化を世界につなぐ成果を生み出しつつあり、福山の「輝く女性」として今後のさらなる活躍を期待したい。

## ■奨励賞：岡山 容子（おかやま ようこ）さま

（株式会社ホームイダイニング）

- 競争の激しい外食産業界にあって、15年にわたりホール長や店長として新店舗の立ち上げや多岐にわたる店舗経営に携わり、細やかな接客や女性ならではの企画力、店舗スタッフのチームづくり等において優れた手腕、能力を発揮し、数値管理に基づく店舗経営等をとおして手がけたいずれ店舗においても大きな業績向上の繋げている点を高く評価した。
- また、和文化や和食文化への関心が世界的な広がりを見せる中で、インバウンド向けホテルへのアプローチを進めるとともに、英語メニューや接客マニュアル等、これからの外食産業に求められる新しい発想に基づく「和のおもてなし」の店舗づくりを取組んでおり、福山の「輝く女性」として今後のさらなる活躍を期待したい。

## ■奨励賞：羽田 富美江（はだ ふみえ）さん

- 13年にわたり轄地区の4ヶ所に地域密着型の高齢者介護施設「さくらホーム」を展開するとともに、放課後デイサービスの運営や「轄の浦塾」の開設等の幅広い地域事業をとおして、多様な世代が集い会い、助け合える地域共生社会の実現をめざしたコミュニティづくりを地道に進めている点を高く評価した。
- その取組には、日々の生活に根ざしたストーリー性があり、それがゆえに人々の共感と共鳴を呼ぶものとなっており、高齢者のためのコミュニティづくりをとおした「地域の意識改革」という大きなテーマに体当たりで挑戦する姿には、福山の「輝く女性」として今後のさらなる活躍に向けた声援を送りたい。

## ■審査委員特別賞：岡崎 瑞穂（おかざき みずほ）さん

（株式会社オーザック）

- 株式会社オーザックの役員として、多年にわたり働きやすい職場づくりに取り組み、仕事と家庭の両立支援、労働時間の短縮等、わが国の多くの企業が具体化をためらい続けてきた職場改革を成し遂げ、社員一人一人の自主的な生産性の向上の取組によって業績向上の成果に繋げている点を高く評価した。
- その取組は、「社員は家族」「企業は社員のその家族のために」という明確な理念のもとに取り組みされており、また、その成果は全国レベルでの先行事例として広く評価・認知されているところであり、内閣府の「働き方改革実現会議」の中小企業分野からのただ一人の議員として国の政策形成に参画していることは、福山の「輝く女性」としての称賛に値する。

## ■実行委員会特別賞：福山市立動物園のゾウ「ふくちゃん」

- ボルネオでは孤児であった福山市立動物園のゾウの「ふくちゃん」が、福山に来て 17 年。

「ふくちゃん」は、日本にいるただ 1 頭のボルネオゾウとして小さな動物園の人気者であり、こどもからおとなまで、多くの市民に愛され親しまれ、今では福山の住民としてなくてはならない存在になっている。

- その「ふくちゃん」は、2015 年後半から体調を崩し、食欲もなくなり、その後、結核に冒されていることが判明し、市民の応援、支援、そして市立動物園職員の懸命の介護によって健康を回復してきたが、今後も長期にわたる療養が必要となっている。
- 異国の地福山での「ふくちゃん」のこれまでの多年にわたる活躍と多大の功績を讃え、健康回復への願いと励ましを込めて、福山の「輝く女性」大賞特別賞を授与するものである。